



川西薩地区2市4町3村

川内市・串木野市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町
里村・上鶴村・鹿島村

法定合併協議会だより

2003
第5号
平成15年5月発行

発行責任者：川西薩地区法定合併協議会／会長 森 卓 朗／編集：川西薩地区法定合併協議会事務局 川内市神田町3番22号
TEL.0996-23-5111 FAX.0996-22-6295 E-mail info@senseisatu-gappei.kagosima.jp ホームページアドレス http://www.senseisatu-gappei.kagosima.jp/

条例・規則等の調整方針案2件を提案



▲ 樋脇町で開かれた法定合併協議会
の第5回会議

平成14年度事業報告・決算を承認 第5回川西薩地区法定合併協議会を開催

川西薩地区法定合併協議会の第五回会議は五月十四日、樋脇町内で開かれました。協議に先立ち、副会長に黒瀬一郎樋脇町長が再任されたことが報告されるとともに、新委員等十八名が紹介されました。

この日の会議は、四月に統一地方選が行われたため、三月二十八日以来一カ月半ぶり。冒頭、森卓朗会長が「枠組みについて振幅があり今後どうなるか心配もあるが、できるだけこの地域で一緒にやっていきたい。」とあいさつしました。

協議では、十四年度事業報告・決算、十五年度補正予算を原案通り承認。合併協定項目、条例・規則等の取扱いと電算システム事業についての調整方針案が提案されました。両調整方針案は各市町村での検討を経て、六月二日開催予定の第六回会議で審議されます。

会議の中で委員から「電算システムの統合に伴う各自治体の負担を抑えるための取り組みが必要」との意見が出されました。これに対し協議会事務局は「全体で十一億円程度かかるとみられ、各市町村の負担割合は均等割三〇％、人口割七〇％となる。財源措置として合併特例交付金の前倒し交付や市町村振興基金を県や国にお願いしている」と答えました。

第5回川西薩地区法定合併協議会から

議決事項

◇平成14年度事業について

法定合併協議会	設置会議	日 時：平成14年12月25日(水) 場所：川内市 主な議題：規約、会長・副会長の選任
	第1回会議	日 時：平成14年12月25日(水) 場所：川内市 主な議題：法定合併協議会設置の経緯、14年度事業計画・予算(案)等
	第2回会議	日 時：平成15年1月14日(火) 場所：串木野市 主な議題：事務事業一元化調整方針(案)、新市まちづくり計画の策定方針(案)等
	第3回会議	日 時：平成15年2月13日(木) 場所：川内市 主な議題：新市名称の公募方法等(案)、会議等の公開に関する指針(案)等
	第4回会議	日 時：平成15年3月28日(金) 場所：串木野市 主な議題：合併の方式、合併の期日、新市の事務所の位置、15年度事業計画(案)等
市町村長調整会	第1回会議	日 時：平成15年1月14日(火) 場所：串木野市 主な議題：下甌村の法定協議会参加の意思
	第2回会議	日 時：平成15年1月20日(月) 場所：川内市 主な議題：下甌村の対処方針、法定合併協議会の進め方
	第3回会議	日 時：平成15年2月13日(木) 場所：川内市 主な議題：市町村長調整会の副会長選任、法定協議会の副会長選任
	第4回会議	日 時：平成15年3月28日(金) 場所：串木野市 主な議題：新市の事務所の位置、串木野市の住民アンケート
新市名称候補選定小委員会	第1回会議	日 時：平成15年2月5日(水) 場所：川内市 主な議題：新市名称の公募方法等(案)、新市名称候補選定基準等(案)等
幹事会	第1回会議	日 時：平成15年1月9日(木) 場所：川内市 主な議題：幹事長・副幹事長の選出、第2回法定協議会の資料(案)
	第2回会議	日 時：平成15年2月6日(木) 場所：川内市 主な議題：副幹事長、第3回法定協議会の資料(案)
	第3回会議	日 時：平成15年2月27日(木) 場所：川内市 主な議題：副幹事長選任、第4回法定協議会の資料(案)、事務事業一元化の進め方等
	第4回会議	日 時：平成15年3月15日(土) 場所：川内市 主な議題：合併の期日、新市の事務所の位置
住民への情報提供	協議会議事録	構成市町村に2部発送し構成市町村で閲覧できるほか、協議会ホームページで公開
	協議会だより	配布体制：法定協議会構成市町村の全戸配布 印刷部数：60,000部/回 発行：3回(1月号、2月号、3月号)
	ホームページ	平成14年12月25日から公開、随時更新 ページ数：約100ページ アクセス数：約12,000件(平成15年3月末)
事務事業調整	電算システム統合調査業務委託	・市町村合併に伴う職員研修業務委託 構成市町村職員研修：2/27～3/27 延べ11回 受講者432名 ・電算システム統合に関する分析業務委託 研修会：先進例(西東京市)担当の技術者の講演 3/24 受講者約50名 ・説明会：「システム統合の考え方と課題」4/16 受講者約100名
新市まちづくり計画策定	新市まちづくり計画策定業務委託	・計画素案作成、まちづくりフォーラム運営・提言書印刷

◇平成14年度決算

・歳入合計額	23,449,323円		
・歳出合計額	20,953,387円	協議会会議費 1,892,400円	まちづくり計画策定事業費 8,465,000円
		幹事会会議費 201,990円	事務事業調整事業費 2,968,350円
		小委員会会議費 205,440円	広報広聴事業費 2,657,550円
		事務局運営費 4,562,657円	予備費 0円
・差引残高	2,495,936円		
・翌年度繰越額	2,495,936円		

◇平成15年度補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,485千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ84,207千円とする。

提案事項

◆条例、規則等の取扱いについての調整方針(案)

条例、規則等の取扱いについては、今後合併協議会で協議・承認された各種事務事業の調整方針に基づき、新市における事務事業に支障がないよう次の区分により整備するものとする。

- ① 合併前に即時制定し、施行させる必要があるもの。
- ② 合併後、暫定的に施行させる必要があるもの。
- ③ 合併後、逐次制定し、施行させるもの。

「条例、規則等の取扱い」については、新設合併の場合、合併関係市町村は消滅するため、各市町村の条例、規則等は失効します。また、合併と同時に消滅する一部事務組合の条例、規則等も失効します。

このため、新市において必要な条例、規則等は、原則として新市において新たに制定し、施行する必要があります。ただし、必要な事項については、新市の条例・規則が制定施行されるまでの間、従来合併関係市町村で施行されていた条例、規則を引き続き施行することができます。

新市の条例、規則等の制定に当たっては、事前にその取扱いについて調整方針を確認しておく必要があります。

◆電算システム事業についての調整方針(案)

電算システム事業については、住民サービスの低下を招くことのないよう最善の配慮のもとで合併と同時に統合したシステムが稼働できるように調整する。

地域情報化及び電子自治体の確立に対応した必要なシステムの構築等、環境整備を図るものとする。

行政事務の多くは電算システムに依存し、欠かせないものになっていきます。しかし、構成市町村の整備状況、導入形態、処理内容、メーカーなど異なる要素が多分にあります。合併した場合、ひとつの自治体

として行政事務の処理を行うことになり、現行のシステムの統合や新システムの構築等について調整が必要となります。

電算システムの統合にあたっては、低リスク、低コストを基本として、合併時からの安定稼働を最優先に行う必要があります。特に住民サービスに直接影響するものについては、ネットワークシステムを構築して運用するなど、本所、支所間におけるサービスの格差は極力避けなければなりません。また、逆に影響が少ないものは、リスクやコストを勘案しながら合併後に随時統合する場合があります。

このほか、地域情報化及び電子自治体的確立に対応するため、必要なシステムの構築や環境整備などを図ることが必要です。

地域情報化計画

川西薩地区法定合併協議会では、新市の住民の観点に立った情報化の指針とするため、五月から十月までの予定で地域情報化計画の策定作業を進めています。

計画期間は平成十六年度から二十六年まで。計画の構成は①各市町村の現状分析②課題整理とその方策③本支所間のネットワークのあり方、電子自治体の対応、分野別の方針など地域情報化推進の考え方④情報の保護及び安全性等の確保⑤計画推進のための体制⑥事業計画。

計画は、住民代表、行政職員で構成する策定委員会が計画案を作成し、幹事会での協議を経て協議会に報告、承認を受けることとなります。

条例、規則等の状況

(平成15年4月1日現在)

●合併関係市町村

	条例	規則	訓令	告示	規程	その他	計
川内市	179	249	64	79	35	7	627
串木野市	167	205	49	87	52	9	569
樋脇町	191	156	91	1	16	14	469
入来町	161	140	64		24	10	399
東郷町	151	119	59	2	28	7	366
祁答院町	151	130	40	7	10	11	349
里村	147	110	28	52	9	3	349
上甕村	172	113	17	25	13	11	351
鹿島村	128	98	10	27	8	10	281
計	1,447	1,320	422	280	195	82	3,760

●合併関係市町村の所属する一部事務組合

(合併関係市町村内に事務局を有するもの)

	条例	規則	訓令	告示	規程	その他	計
川内地区消防組合	38	55	19	16	23	2	153
串木野市・市来町・東市来町衛生処理組合	28	21	3		2	1	55
西薩衛生処理組合	29	19	8	4	3	1	64
西薩火葬場組合	13	5	1			1	20
甕島衛生管理組合	20	1		1		1	23
串木野樋脇清掃組合	27	21	5			2	55
川薩地区介護保険組合	24	29	8	6	1	1	69
上甕島バス事業団	10	4			10	1	25
計	189	155	44	27	39	10	464

まちづくりフォーラム提言報告会を開催

5月11日、東郷町中央公民館

～語り合おう！ 私達の新しいまちを～



県内で初めて開かれたまちづくりフォーラム報告会

新市のまちづくり計画に住民の声を反映させるために設置された「まちづくりフォーラム」（中俣知大代表、四十五人）の提言報告会が五月十一日、東郷町中央公民館で開催されました。まちづくりフォーラムが協議会に提言した新市の将来像について、広く住民に知ってもらい、合併に対する理解を深めてもらおうと開いたものです。会場には関係市町村の住民ら約五百人が参加し、「語り合おう！私達の新しいまちを」をテーマにしたパネルディスカッションに、熱心に耳を傾けていました。

報告会ではまず、協議会会長の森卓朗・川内市長が「会場の様子から、地域の皆さんが市町村合併に大きな関心を持っていることが分かります。まちづくりフォーラムから百五十二項目に上る提言をいただいたが、これらを皆さんに理解してもらい、会場の皆さんの意見を聞いて今後のまちづくりに反映させたい」とあいさつ。森園正堂・東郷町長は「今後住んでいくまちを活力ある住みよいまちにしていくなために語り合いたい」と述べました。

まちづくりフォーラムの中俣代表は「合併にはメリット、デメリットがあるが、デメリットをどう乗り越えていくかが大切。合併で小さい市町村ではできなかったこともできるようになる。提言はなるべく分か

新市のまちづくりを探る

関係市町村住民ら約500人が参加

りやすくしたつもりだが、皆さんにお知らせして、広く意見を伺いたい」と語りました。次いで協議会の田中良二事務局長が市町村合併を考える背景や、川西薩地区法定合併協議会のこれまでの経過、今後の取り組みについて説明。まちづくりフォーラムの古城和行委員が、新市の面積や人口など概況について説明していききました。

また、この報告会は、フォーラム委員が主体となり会の運営・進行を行い、総合司会をまちづくりフォーラムの田島直美委員が務めました。パネルディスカッションでは、中俣代表をコーディネーター、小辻浩史・社会基盤グループ、宮下文明・生活環境



まちづくりフォーラム委員によるパネルディスカッション

グループ、伊集院睦子（保健福祉グループ）、柏木徹（産業経済グループ）、中島増夫（教育文化グループ）のまちづくりフォーラム各委員をパネリストに、新しいまちづくりに向けた議論が展開されました。

ディスカッションには会場の参加者も加わり、「提言の中にはお金がかかるものもある。財源的な裏付けにも配慮すべき」「提言では離島の利便性も上がるような気がするが、離島の医療問題は特に配慮してほしい」「原発をマイナス面だけでとらえず、エネルギー大学や研究所を誘致できないか」「第一次産業の中で林業振興の視点も必要」など意見が出されました。

新しいまちの一体感を

小辻 浩史さん

(社会基盤グループ)



合併に際しては、新しいまちの一体感の醸成が何より重要。そのためのインフラの整備の促進・充実とともに、地域特性の保持・増進などに力点を置いて提言をまとめました。提言は「どこへも便利・どこからも便利なアクセス網の充実」「新しいまちを描こう、顔づくり・姿づくり・まちづくり」を柱にしています。

アクセス網の充実では、一つには地域内アクセスの向上や各地域と空港との利便性を高める。二つ目には蘭牟田瀬戸大橋の実現、ヘリポートの整備、海上タクシーの活用など甌島との一体的なインフラ整備の推進。三つ目は川内市の「くるくるバス」を地域全体に広げるなど地域内の移動手段の確保・充実による活性化など。

顔づくりでは、川内駅東側(樋脇町・祁答院町・入来町・東郷町東側)の整備と道路アクセスの向上など新幹線開通のメリツトを最大限引き出す整備の促進など。姿づくりでは、海・山・川など地域特性を活かしたゾーニングなど。まちづくりでは、住民の声を反映しやすくする仕組みの構築などを提言しました。

環境先進都市づくりを

宮下 文明さん

(生活環境グループ)



基本的な考え方として、「環境先進都市づくり」を大きな目標に掲げ、離島を含む自治体における安心できる暮らし、定住・交流促進を念頭に置きました。この結果、「みんなを取り組む環境先進都市づくり」「安心できる広域消防救急体制の構築」「地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備」「地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地・河川の活用」を提言しています。

パネルディスカッション

パネルリストの意見から

環境先進都市では、ごみの減量化・再資源化の推進、水質検査の実施と検査結果の公開など水がきれい豊かなまちづくりを進める。消防救急体制では、甌島や山間部の住民も安心できる広域消防救急医療体制の整備、救急医療における甌島民の負担の軽減、婦人消防隊などの初期的な消防防災

組織の育成など。

住宅・宅地では、公共賃貸住宅の整備、高齢者向け住宅と若年者向け住宅の一体的な整備など。公園・緑地・河川の活用では、利用頻度の低い公園の市民農園化、川内川に屋形船やボートを浮かべるなど川に親しむ機会の創出などを提言しています。

健康づくりと福祉の充実

伊集院睦子さん

(保健福祉グループ)

「自ら進んで行動し共に助け合う福祉社会」を形成するために、心身の健康づくり

や福祉サービスの充実を図ることを基本的な考え方としてまとめました。提言は「市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進」「市民すべての健康づくりの推進」「安心して出産し子育てができる支援体制の充実」の三つの柱から構成されています。



安心して暮らせる環境づくりでは、快適に日常生活を送れる高齢者・障害者福祉の充実、マンパワーの確保・ボランティアネットワークなどの地域福祉推進体制の充実、低料金の宿泊施設など甌島からの介助者の経費負担軽減など。

健康づくりでは、温泉を利用したユニバーサルデザイン化複合施設など拠点施設の充実、予防の観点に重点を置いた保健サービスの充実、甌島の環境を生かしたケアハウス等の甌島における医療施設の充実など。子育て支援では、少子化・核家族化、女性の社会進出に対応して、保育料の低料金化などの保育サービスの充実、二十四時間体制の小児科の設置など小児医療体制の強化を提言しています。

地域内循環経済の創出

柏木 淑さん

(産業経済グループ)



「地域内循環経済の創出」を目標に、その達成に向けた産業間、地域間の交流・連携の強化を図ることを基本的な考え方に、「新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開」「力強い水産業の新たな展開」「すそ野の広い観光産業の振興」「都市の魅力の創出」を柱に提言しました。農業では、川西薩地区農業公社を設立し、

「地域力」が奏でる 「都市力」の創出をめざして

～まちづくりフォーラムの提言～

■新しいまちづくりの視点

・「地域力」を育み、新しい地域創造を目指す

新市を構成する“まち”は、恵まれた自然、伝統、文化等々、それぞれにすばらしい財産がある。良いものは残し、強化・充実し、また、地域内に広げていくことで地域特性を活かした“新しいまち”を創り出していく。

・「都市力」(都市の魅力)を最大限に発揮する

9市町村が一体となることにより、産業・観光等のあらゆる面で規模の拡大による効果や相乗効果が期待できる。インフラ整備を含め、13万都市の魅力を最大限発揮するような方策を推進していく。

■まちづくりフォーラムの提言する4つのプロジェクト

I「地域力」を育む、新しい地域創造プロジェクト

- ・コミュニティ活動の維持と自治組織活動の強化
- ・地域の特色を生かした教育の推進
- ・特色ある地域文化の保存・継承の推進
- ・みんなで取り組む環境先進都市づくり

II「フェイスtoフェイス」、うるおいと安心創出プロジェクト

- ・市民すべてが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの推進
- ・市民すべての健康づくりの推進
- ・安心して出産し子育てができる支援体制の充実
- ・安心できる広域消防救急体制の構築

III「潜在力」を発揮する、「産業活力」創生プロジェクト

- ・新たな時代に対応したダイナミックな農業の展開
- ・力強い水産業の新たな展開
- ・すそ野の広い観光産業の振興

IV「都市力」を創生する、新市飛翔プロジェクト

- ・「都市の魅力」の創出
- ・“どこへも便利・どこからも便利”なアクセス網の充実
- ・新しいまちを描こう 顔づくり・姿づくり・まちづくり”
- ・地域ニーズを踏まえた住宅・宅地の整備
- ・地域内外の人々が集う魅力ある公園・緑地・河川の活用

地域農業センター機能として位置づけ、農業政策を一元化する。このほか、集落単位の営農形態の構築、重点的な振興作物の選定による独自性のある産品づくりなど。

水産業では、甌島―串木野間の海域で大規模な畜養基地をつくり、いつでも新鮮な魚が供給できる体制の構築と、基地から地元スーパーなどに直接卸すシステムの構築、大型魚礁の設置など。

観光産業では、体験観光など既存観光資源の高付加価値化や、温泉と水産物、歴史文化資源と農産物など複数の観光資源の連携、観光課の設置など。都市の魅力では、港湾機能の強化、商店街の専門店化などを提言しています。

教育文化活動のネットワーク化

中島 増夫さん
(教育文化グループ)



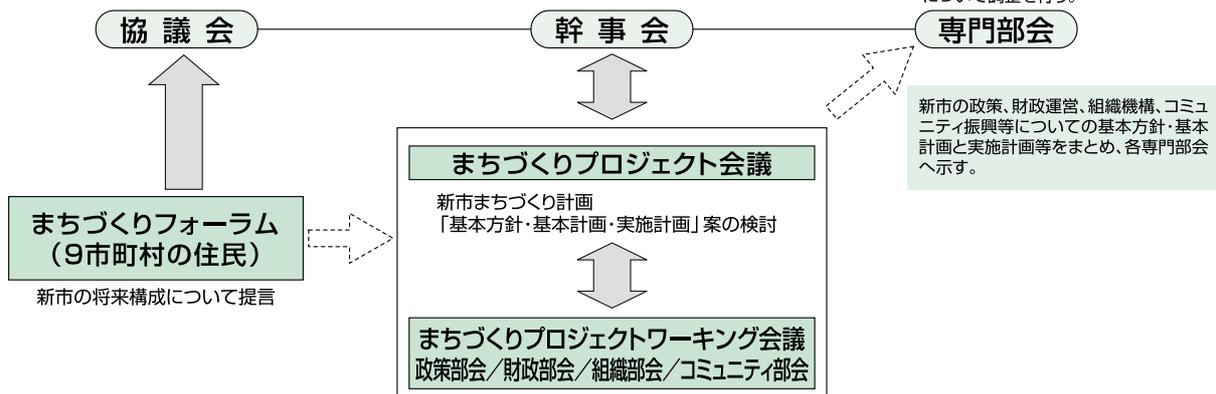
教育文化活動は地域に深く根差していることから、各地域の特色を十分に生かしながら新市の教育文化活動の創造を目指し、ネットワーク化を図るといったのが提言の骨子です。提言は「地域の特色を生かした教育の推進」「特色ある地域文化の保存・継

承の推進と新たな文化の創造」「コミュニティ活動の維持・強化」の三分野に分けてまとめています。

教育では、地域の特色を生かした幼児・学校教育等の推進、生涯学習の広域的な展開・ネットワーク化、スポーツ活動を通じた健康づくりのほか、地域力を伸ばして地域の青少年育成活動の充実などを取り上げています。

文化活動では、それぞれの地域の伝統芸能・地域文化の保存・伝承、女性団体等の地域に根差した既存組織の活用と交流の推進など。コミュニティ活動では、地域社会の基礎単位としての単位自治組織の維持・充実に取り組み、特に小規模地域の公民館活動を維持できるよう支援していくこと、自治組織への加入の促進などを提言しています。

まちづくりフォーラムの位置付け



9 専門部会の進捗状況

(平成14年12月25日～15年4月末日)

川西薩地区法定合併協議会では、9専門部会を設置し、各分野の事務事業について調整を行っています。昨年12月25日の法定協発足から今年4月末までの作業の進捗状況と、今後当面の作業内容は次の通りです。

部 会 名	進 捗 状 況
総 務 部 会	<p>4月末日までに専門部会2回、分科会(5分科会)を延べ23回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、公共的団体等、事務事業のすり合わせについて協議しました。</p> <p>今後、分科会所管の事務事業について、関係機関の意見等を聞きながら、すり合わせ協議を行います。</p>
企 画 財 政 部 会	<p>4月末日までに専門部会を4回、分科会(9分科会)を延べ49回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、事務事業のすり合わせ等について協議しました。</p> <p>今後、引き続き事務事業のすり合わせを行うとともに、本部会で取りまとめるべき補助金、使用料・手数料について協議・調整する予定です。</p>
産 業 経 済 部 会	<p>4月末日までに専門部会を4回、分科会(8分科会)を延べ34回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、事務事業のすり合わせ等について協議しました。</p> <p>今後、引き続き事務事業のすり合わせ協議を進め、調整項目によっては各農業委員会等の関係機関と協議調整を図りながら進めることとしています。</p>
住 民 健 康 福 祉 部 会	<p>4月末日までに専門部会を3回、分科会(5分科会)を延べ10回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、補助金、使用料・手数料について協議しました。</p> <p>今後、A・Bランクの協定項目から先に各分科会、専門部会で調整方針を協議の予定です。</p>
建 設 部 会	<p>4月末日までに専門部会を2回、分科会(5分科会)を延べ11回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、補助金、使用料・手数料について協議しました。</p> <p>今後、A・Bランクの協議項目から先に各分科会、専門部会で調整方針を協議の予定です。</p>
上 下 水 道 部 会	<p>4月末日までに専門部会を3回、分科会(4分科会)を延べ11回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目分類(ランク分け)所管する電算システム、事務事業のすり合わせ等について協議しました。</p> <p>今後、引き続き事務事業のすり合わせ協議を進め、Aランク協議項目の調整方針を5月中旬の専門部会で協議の予定です。</p>
教 育 部 会	<p>4月末日までに専門部会4回、各分科会(6分科会)を延べ24回開催し、調整個表(比較表)の目揃え、調整項目(ランク分け)所管する電算システム及び部会の共通協議項目(公共的団体等)について協議しました。</p> <p>現在、分科会でAランク協議項目の調整方針を検討中で、5月中旬には専門部会での協議に入る予定です。</p>
電 算 情 報 部 会	<p>4月末日までに専門部会6回、分科会を9回開催し、調整個表の目揃え、調整項目分類及び共通協議項目について協議しました。また、各分科会が所管する個別の電算システムについて調整方針協議に必要な資料作成、協議の進行管理を行いました。</p> <p>今後、各システムの統合のために必要な調査や情報化、ネットワーク等についての協議を行う予定です。</p>
議 会 ・ 監 査 部 会	<p>4月末現在、議会、監査それぞれ専門部会を3回ずつ開催し、調整個表の整理に係る協議、調整項目の分類、電算システム、公共的団体、事務事業のすり合わせについて協議しました。</p> <p>今後、引き続き事務事業のすり合わせ協議を進め、調整項目によっては各市町村議会との協議調整を図りながら作業を進めることとしています。</p>

合併協定項目の協議順

(協議順は予定で、変更される場合があります)

合併協定項目	提案月	協議会	決定月	協議会	合併協定項目	提案月	協議会	決定月	協議会
1 合併の方式	3	第4回	3	第4回	24 環境衛生事業	8	第11回	10	第14回
2 合併の期日					25 一部事務組合等の取扱い	9	第12回	11	第16回
3 新市の事務所の位置					26 慣行の取扱い				
4 条例、規則等の取扱い	27 消防団の取扱い								
5 電算システム	28 男女共同参画事業								
6 新市まちづくり計画	29 広報広聴関係事業								
7 使用料、手数料等の取扱い	30 消防防災関係事業								
8 公共的団体等の取扱い	7	第8回	8	第11回	31 議会議員の定数及び任期の取扱い	10	第13回	11	第16回
9 上・下水道事業					32 農業委員会委員の定数及び任期の取扱い				
10 地方税の取扱い	8	第9回	9	第12回	33 姉妹都市・国際交流事業				
11 補助金、交付金等の取扱い					34 農林水産関係事業				
12 障害者福祉事業					35 情報公開制度				
13 高齢者福祉事業					36 交通関係事業				
14 財産の取扱い					37 商工・観光関係事業				
15 事務組織及び機構の取扱い					38 建設関係事業				
16 国民健康保険事業の取扱い	8	第10回	10	第13回	39 学校教育事業	11	第15回	12	第17回
17 介護保険事業の取扱い					40 コミュニティ施策				
18 児童福祉事業	8	第11回	10	第14回	41 社会教育事業				
19 新市の名称					42 一般職の職員の身分の取扱い				
20 町名・字名の取扱い					43 特別職の身分の取扱い				
21 自治会・行政連絡機構の取扱い					44 生活保護事業				
22 窓口業務					45 その他の福祉事業				
23 保健衛生事業					46 その他事業				



● 今後の法定合併協議会開催予定

◆ 法定協議会の第七回会議

六月二十六日(木) 午後一時半から

川内市 ホテル太陽パレス

※会議は都合により変更される場合があります。事前に事務局にお問い合わせください。

● 協議会は傍聴できます

法定合併協議会の会議は住民の方も傍聴できます。定員は三十名。会場の都合で定員数が増減されることもあります。傍聴希望の方は、所定の傍聴届に住所及び氏名を記入し、会場で協議会事務局に提出、傍聴証の交付を受けてください。傍聴証は会議開催予定時刻の十五分前から先着順に交付。傍聴希望者が定員を超える場合はくじ引きで選ぶことになります。

● 最新情報をホームページでどうぞ

川西薩地区の市町村合併に関する最新情報を掲載したホームページを開設しています。住民の皆さんのご意見やお問い合わせにも利用できます。ホームページから子供向けホームページ「せんせいさつきっす」にもアクセスできます。楽しいパズルやクイズなどもあります。

<http://www.sensatsatu-gappet-kagosima.jp/>

協議会の 新メンバーです

四月の統一地方選や人事異動で川西薩地区法定合併協議会のメンバーが変わりました。新メンバーは次の通りです。

(敬称略)

【協議会委員】

吉尾 逸郎(串木野市議会議長)

神園賢太郎(串木野市議会総務企画委員長)

帯田 博美(樋脇町議会議長)

田島 春良(樋脇町議会副議長)

中島 増夫(樋脇町学識経験者)

和田 国昭(東郷町助役)

鬼塚 五志(東郷町議会議長)

北迫 茂(東郷町議会副議長)

村原 政和(祁答院町助役)

安田 文仁(祁答院町議会議長)

肥後 耕作(祁答院町議会合併問題対策特別委員会委員長)

平嶺 道夫(里村議会議長)

外園 加一(里村議会副議長)

中能 重行(上甕村議会議長)

大良 影夫(上甕村議会副議長)

【顧問】

肥後 和紀(鹿児島県総務部地方課長)

【幹事会幹事】

和田 国昭(東郷町助役)

村原 政和(祁答院町助役)

福永 勝文(串木野市総務企画部長)

牛濱 義信(串木野市建設部長)

今吉 俊郎(川内市市町村合併対策課参事)

柳 忠喜(上甕村企画課長)

【事務局】

調整第一班員 古川太司(樋脇町)